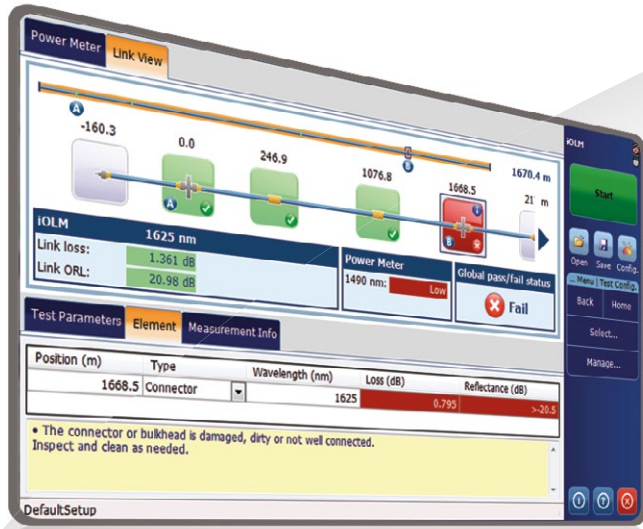


iOLMインテリジェント 光リンクマップ (iOLM)

シングル/マルチモード対応・エキスパートレベルの自動光ファイバテスト



対応機種:

- ▶ MAX-700B OTDRシリーズ
- ▶ FTB-700 OTDRシリーズ
- ▶ FTB-7000E OTDRシリーズ

Powered by

LINK AWARE™
TECHNOLOGY



インテリジェント光リンクマップは、その専用の測定ソフトウェアも含めて、特許保護が適用されます。EXFOのユニバーサルインターフェースは、米国特許6,612,750により保護されています。

iOLMは、自動マルチパルス捕捉と高度なアルゴリズムを使用し、リンクの各エレメントの詳細情報を表示するOTDRベースのアプリケーションです。ボタン操作1つで、最高のインテリジェンスと明快さを備えたエキスパートレベルのリンクキャラクタライゼーションを実現します。

主要な機能

自己設定

Link-Aware™テクノロジー

光リンクビュー

即時診断

整理統合された双方向リンクビュー (特許出願中)

OTDRトレースファイル生成 (.sor)

主要ネットワークアプリケーション

ポイントツーポイントアクセス

FTTxラストマイル

LAN/WAN、企業、データセンタ

FTTx/PON MDU

フロントホール (FTTA、DAS、スモールセル) およびバックホール

メトロ、コアおよびロングホール

CWDM

ケーブルテスト (IL/ORL測定)

プラットフォームの互換性



ハンドヘルドOTDR
MaxTester 700B
シリーズ



現場向けプラ
ットフォーム
FTB-1



コンパクトプラ
ットフォーム
FTB-200



プラットフォーム
FTB-500
(互換性については今後可能になる予定です)

EXFO

OTDRテストの枠を越える

技術革新はEXFOの中心であり、なかでもIntelligent Optical Link Mapper (iOLM) は劇的な変化をもたらすソリューションの代表例です。iOLMによってOTDRのフルパワーを利用でき、高次元な自動化が可能で、経験のない技術者も、すぐにテストのエキスパートになることができます。

iOLMは、すべての専門知識をシンプルで使いやすいソフトウェアに統合しました。これによって、既存のOTDRテスト機能はこれまでにないレベルに到達します。さらにEXFOは、各OTDRモデルを特定の用途に対して最大性能を発揮するように設計し最適化しています。これが、御社向けのソリューションが御社の現状にフィットする理由です。

iOLM - 概要と動作

OTDRから複雑性を排除

iOLM | intelligent Optical Link Mapper

複数のOTDR取得の起動



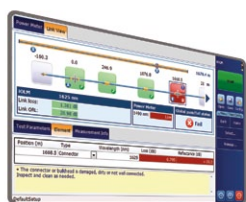
トレース解析



結果の合成



リンクの回路図を表示して迅速に診断



US特許:6,612,750

特許取得済みの独自のマルチパルスおよびマルチ波長の自動取得手法によって、従来のOTDRを超えるiOLMの実力は現場で実証されており、さらにリニアビューにより、あらゆるファイバネットワークも、エキスパートレベルのリンクのキャラクタライゼーションを可能にします。

この動的なOTDRベースのアプリケーションは、EXFOの最も進歩したアルゴリズムを使用して、リンクのすべてのエレメントについて詳細な情報と最大の解像度を提供します。iOLMは、その比類のないインテリジェンスと簡便性により、複雑なOTDRテストを、ボタン1つの操作で得られる明確で正確な合否結果に変えることができます。

▶ ハードウェアの最適化とインテリジェントなソフトウェアにより、最大のパフォーマンスを実現

▶ ボタン1つで、完全に自動的に、複数の波長について複数の取得を実行

▶ エキスパートレベルのキャラクタライゼーション結果を、単一の包括的なレポートとして提供

▶ ファイバの完全なキャラクタライゼーションを、最速かつ簡単な方法で実行

▶ トレーニング不要: デバイスは自動的に設定され、明確な合否結果を報告

▶ Link-Aware™テクノロジーにより最も確かな解析が行われるため、技術者派遣を最小限に抑えることが可能

▶ トレースの誤解釈を防止: 迅速な診断と光リンクの明確なビュー

Powered by
LINK-AWARE™
TECHNOLOGY

iOLMの3つの利点

OTDRコンボ (Oiコード)

iOLMとOTDRアプリケーションを1つのユニットで実行

アップグレード

iOLMソフトウェアオプションを現場でも追加可能

iOLMのみ

iOLMアプリケーションのみのユニットで注文可能



簡単3ステップで、完全に適合

ステップ1: ネットワークアプリケーションの選択

実際のOTDRの性能は、製品仕様をはるかに超えるものです。
アプリケーション固有のパラメータに基づいて、御社のネットワークサービスを最適化します。

ステップ2: フォームファクタの選択

- ▶ MaxTester 700Bシリーズ: 厳しい予算制約のもとでシングルモードのタスクを実行するために設計された、コンパクトで専用の、タブレット発想によるハンドヘルドOTDR
- ▶ FTB-1: マルチテスト対応および高度な現場でのトラブルシューティング向けのコンパクトなモジュール式プラットフォーム
- ▶ FTB-200: 日常のルーチンタスク用に柔軟性を持たせた、モジュール式のハンドヘルドプラットフォーム
- ▶ FTB-500: 高度なマルチアプリケーションテストのためのフルサイズのモジュール式プラットフォーム

組み合わせれば 最適ソリューションに

ステップ2: フォームファクタの選択



MAX-700B



FTB-1



FTB-200



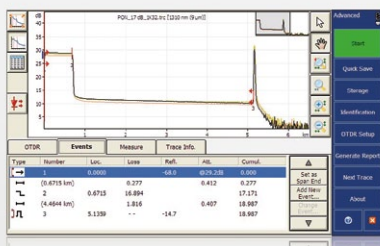
FTB-500*

ステップ1: アプリケーション	対応するソリューション			
ラストマイル ショートP2Pリンク	MAX-715Bラストマイル OTDR+iOLMソフトウェア			
LAN/WAN データセンタ プライベート/エンタープライズ		FTB-720 LAN/WAN Accessテストモジュール +iOLMソフトウェア		
ポイントツーポイントアクセス セルラバックホール (FTTT/FTTA)	MAX-720B Access OTDR +iOLMソフトウェア	FTB-720 LAN/WAN Accessテストモジュール +iOLMソフトウェア		
FTTx パッシブ光ネットワーク (PONs) 集合住宅用ユニット ショートメトロ	MAX-730B メトロ/FTTx OTDR+iOLMソフトウェア	FTB-730 FTTx/PON MDU テストモジュール +iOLMソフトウェア	FTB-7300E FTTx/PON MDU テストモジュール +iOLMソフトウェア	FTB-7300E* FTTx/PON MDU テストモジュール +iOLMソフトウェア
ロングホール メトロ/コア CWDM CATV			FTB-7400E メトロ/CWDM テストモジュール+iOLMソフ トウェア	FTB-7400E* メトロ/CWDM テストモジュール+iOLMソフ トウェア

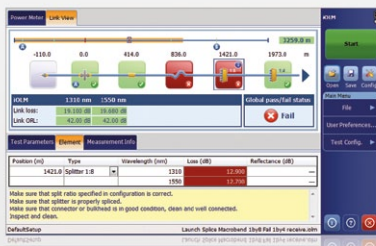
*注記: iOLMとFTB-500プラットフォームの各種モジュールとは、近日互換可能になる予定です。

ステップ3: テクノロジーの選択

従来の方が、開発中の方が、または両方の良いところを1つの機器にまとめて使用します。



および/または



▶ 長年の実績があるOTDRテクノロジーと、
高度なモード、トレース解析、編集機能

▶ 革新的なiOLMおよびLink-Aware™
テクノロジーと、マルチパルス手法、リンク
の視覚的な表現、イベント単位の分析

独自の機能

シングルエンドのファイバ展開における革新



Link-Aware™テクノロジー

テストの実行を最適化する | ワンクリックで自動的にリンクを認識し、最適なパラメータを設定して、複数捕捉と複数分析（複数の波長で）を開始します。各リンクセクションとすべてのネットワークエレメントについて、得られた結果を整理します。各リンクエレメントに関する正確な情報がすぐに得られ、単一のレポートにエクスポートできます。



自己設定

エキスパートレベルにする | Link-Awareテクノロジーの力によって、iOLMはすべてのテストパラメータの設定を自己管理します。つまり、iOLMは学習曲線を劇的に短くし、すぐに利用可能なインテリジェンスなのです。トレーニング時間を最小化し、テストにおける誤った設定を排除、銅線から光ファイバへの技術者の移行を促進します。



光リンクビュー

データをわかりやすく処理 | 単純化されたリンクマップにより、テストしたファイバのわかりやすいビューを提供、アイコンと合否判定により結果を明確に判定できるため、複雑なOTDRトレースを見る必要がありません。現実的な結果（イベントキャラクターライゼーションと光ファイバステータス付きの、リンクのエンドツーエンドビジュアル評価）を取得できます。



即時診断

正しく導く | iOLMには、無数のアルゴリズムと潜在的なネットワーク障害のデータベースがロードされており、ネットワーク問題解決の手順が示されます。トレースの誤った解釈に振り回されることはもうありません。熟練した技術者だけでなくすべての技術者が、ネットワークの問題を現場で効率的に解決できるようになります。



OTDRトレースファイルの生成

既存のテストファイル要件に適合 | iOLMはユニバーサルおよび拡張Bellcoreフォーマット(.sor)のOTDRトレースを生成するため、既存のレポート作成要件および後処理要件に準拠可能です。このOTDRトレースは、iOLMが収集した追加情報すべてを統合し、より包括的な結果を作成します。



整理された双方向リンクビュー（特許出願中）

結果の結合 | 正しいスプライスキャラクターライゼーションを確実にするために、双方向テストが推奨されます。iOLM双方向リンクビューは、複数の方向の複数の波長による結果を結合するため、このタスクがより簡単になり、単一で読みやすいiOLMスタイルの形式で結果が表示されます。さらに、FastReporter2データ後処理ソフトウェアによって、バッチレポートを簡単に生成できます。

自動で資産を管理。テストデータをクラウドにアップ。つながる。

EXFO | Connect

EXFO Connectは、テスト機器とテストデータコンテンツをクラウドに自動的に格納することで、ビルドアウトからメンテナンスまでのテスト操作を簡素化できます。

追加機能

リアルタイムOTDRモード

iOLMは、iOLMソフトウェアアプリケーションによって、リアルタイムOTDRモード (RTオプション) 機能をサポートします。OTDRアプリケーション (Oiオプション) またはRTモード (RTオプション) のいずれかを実行して、フィールドスプライシングを測定するか、またはiOLM捕捉を起動する前にリンクをチェックします。

2xNスプリッタキャラクタライゼーション

iOLMは、マルチインプットまたは冗長ネットワークに対して、2xNスプリッタ特性分析を行い、明確な合否判定を示す、市場で唯一のソリューションです。2xNスプリッタと両方の入力分岐を特定し、ユーザは (従来の方式を使用した場合は3つのテストであるのとは対照的に) 1つのテストでネットワークを正確にドキュメント化できます。

iOLMエキスパートモード (iEX)

iEXは、レポートの作成のために、トレースファイルの文書化における柔軟性を必要とする光ファイバテスト技術者または管理者のために特別に設計されたソフトウェアオプションです。柔軟性は、ネットワーク計画により適合するように独自の要素を作成することも意図するため、このオプションでは別のイベントの追加、イベントの削除、トレースの再分析ができます。

推奨

シングルモードポートのAPC (Angled-Polished Connector)

他のOTDRと同様に、iOLMはユニットのポートにおける強い反射の影響を受けます。低反射を保証し、測定の正確さを維持するには、iOLMシングルモードポートをAPCコネクタとともに使用する必要があります。APCコネクタを使用するもう一つの利点は、装置の機能を維持する一方で、反射が強くなることなく、厳しい状況に対応する能力です。

UPCコネクタの場合、汚れ、摩耗、損傷がある場合に反射が強くなる傾向があります。これは測定に影響を与え、早期のコネクタ交換につながります。UPCネットワークのテストにUPC機器は必要ありませんが、APC/UPCテストジャンパ (iOLMに付属) またはランチ光ファイバ (SPSB) を使用することで互換性が保証されます。

テスト方法

EXFOは、iOLMのコネクタの損失を遮断するため、またはUPC ネットワークテストを実行するために、150メートルのランチケーブル (SPSB) を使用することを推奨します。また、それによって結合数が減って機器のコネクタの寿命が延び、最終的に所有コストが改善されます。



ENCIRCLED FLUXによる高速マルチモードネットワークのトラブルシューティング (暫定)



SPSB-EF-C30

エンタープライズ級ビジネスや大容量のデータセンタを拡張するとき、マルチモードファイバを使用して構築される、新しい高速データネットワークの実行における許容範囲は、従来よりもさらに厳しくなります。障害が発生した場合、障害を迅速に見つけて修正するために、インテリジェントで正確なテストツールが必要です。

マルチモードファイバは、テスト結果が各デバイスの出力状況に大きく左右されるため、テストが最も複雑なリンクです。構築ユニットとは別のユニットでのトラブルシューティングは、技術者の誤解釈や、障害を発見できなくなる結果を招き、ネットワークの停止時間が長くなる恐れがあります。

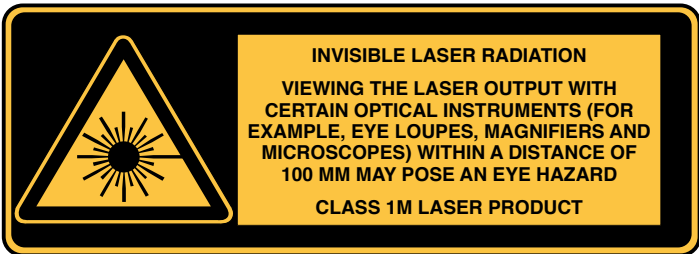
EXFOは、マルチモードファイバ用にEF (Encircled Flux) 準拠の外部起動モードコンディショナーを使用することをお勧めします。Encircled Flux標準 (TIA-526-14-B およびIEC 61280-4-1版2.0によりTIA-568で推奨される) は、ソースの起動条件を制御し、最も正確で一貫したティア2のトラブルシューティングを実行するための方法です。

SPSB-EF-C30など、外部のEF準拠デバイス*を使用することで、障害のあるネットワークを迅速かつ簡単に修正できることを保証できます。

*Encircled Flux準拠の詳細情報については、Encircled Fluxテストソリューションのスペックシートを参照してください。

一般仕様			
モデル	MAX-715B/720B/730B	FTB-720およびFTB-730	FTB-7300EおよびFTB-7400E
サイズ(高さ×幅×奥行)	200mm×155mm×68mm (7 7/8in×6 1/8in×2 3/4in)	130mm×36mm×252mm (5 1/8in×1 7/16in×9 15/16in)	97mm×25mm×260mm (3 13/16in×1in×10 1/4in)
重量	1.29kg (2.8lb)	0.65kg (1.4lb) FTB-1とのセット:2.2kg (4.8lb)	0.55kg (1.2lb) FTB-1とのセット:2.2kg (4.8lb)
温度	作動中 ストレージ	-10°C~50°C (14 °F~122 °F) -40°C~70°C (-40 °F~158 °F)	0 °C~50 °C (32 °F~122 °F) -40 °C~70 °C (-40 °F~158 °F)
相対湿度	0%~95% (非凝縮)	0%~95% (非凝縮)	0%~95% (非凝縮)

レーザ安全性



INVISIBLE LASER RADIATION
VIEWING THE LASER OUTPUT WITH CERTAIN OPTICAL INSTRUMENTS (FOR EXAMPLE, EYE LOUPES, MAGNIFIERS AND MICROSCOPES) WITHIN A DISTANCE OF 100 MM MAY POSE AN EYE HAZARD
CLASS 1M LASER PRODUCT

注文コード

MAX-715B-XX-XX-XX-XX-XX-XX-XX

モデル ■

M1 = ラストマイルOTDR, 1310/1550nm (9/125 mm)
M2 = ラストマイルOTDR, 1310/1550nm および1625nm ライブポート (9/125 mm)
M3 = ラストマイルOTDR, 1310/1550/1625nm (9/125 mm)

接続 ■

RF = RF機能と接続 (Wi-FiおよびBluetooth)

コネクタ ■

EA-EUI-28 = APC/DIN 47256
EA-EUI-89 = APC/FC 小型キー
EA-EUI-91 = APC/SC
EA-EUI-95 = APC/E-2000
EA-EUI-98 = APC/LC
EI-コネクタ = 下記の注記を参照

OTDRソフトウェアオプション ■

OTDR = OTDRアプリケーションのみ可
iOLM = iOLMアプリケーションのみ可
Oi = OTDRおよびiOLMアプリケーション可

ソフトウェアオプション

00 = ソフトウェアオプションなし
SRC = OTDRポート経由のソース

コネクタアダプタ ■

FOA-12 = バイコニック
FOA-14 = NEC D4:PC, SPC, UPC
FOA-16 = SMA/905, SMA-906
FOA-22 = FC/PC, FC/SPC, FC/UPC, FC/APC
FOA-28 = DIN 47256, DIN 47256/APC
FOA-32 = ST:ST/PC, ST/SPC, ST/UPC
FOA-54 = SC:SC/PC, SC/SPC, SC/UPC, SC/APC
FOA-78 = ラジオール (Radiall) EC
FOA-96B = E-2000/APC
FOA-98 = LC
FOA-99 = MU

パワーメータ

00 = パワーメータなし
PM2X = パワーメータ: GeXディテクタ
VPM2X = VFLおよびパワーメータ: GeXディテクタ

例: MAX-715B-M1-EA-EUI-91-Oi-VPM2X-FOA-22-SRC

注記
a. パワーメータを選択した場合。

注文コード

MAX-720B-XX-XX-XX-XX-XX-XX-XX

モデル

M1 = Access OTDR, 1310/1550nm (9/125 mm)

接続

RF = RF機能と接続 (Wi-FiおよびBluetooth)

コネクタ

EA-EUI-28 = APC/DIN 47256
EA-EUI-89 = APC/FC 小型キー
EA-EUI-91 = APC/SC
EA-EUI-95 = APC/E-2000
EA-EUI-98 = APC/LC
EI-コネクタ = 下記の注記を参照

OTDRソフトウェアオプション

OTDR = OTDRアプリケーションのみ可
iOLM = iOLMアプリケーションのみ可
Oi = OTDRおよびiOLMアプリケーション可

ソフトウェアオプション

00 = ソフトウェアオプションなし
SRC = OTDRポート経由のソース

コネクタアダプタ^a

FOA-12 = バイコニック
FOA-14 = NEC D4:PC, SPC, UPC
FOA-16 = SMA/905, SMA-906
FOA-22 = FC/PC, FC/SPC, FC/UPC, FC/APC
FOA-28 = DIN 47256, DIN 47256/APC
FOA-32 = ST:ST/PC, ST/SPC, ST/UPC
FOA-54 = SC:SC/PC, SC/SPC, SC/UPC, SC/APC
FOA-78 = ラジオール (Radial) EC
FOA-96B = E-2000/APC
FOA-98 = LC
FOA-99 = MU

パワーメータ

00 = パワーメータなし
PM2X = パワーメータ:GeXディテクタ
VPM2X = VFLおよびパワーメータ:GeXディテクタ

例: MAX-720B-M1-EA-EUI-91-Oi-VPM2X-FOA-22-SRC

注記

a. パワーメータを選択した場合。

注文コード

MAX-730B-XX-XX-XX-XX-XX-XX-XX

モデル

M1 = FTTx/MDU PON, 1310/1550nm (9/125 μm)
M2 = FTTx/MDU PON, 1310/1550nmおよび1625nmライブポート
(9/125 μm)
M2 = FTTx/MDU PON, 1310/1550/1625nm (9/125 μm)

接続

RF = RF機能と接続 (Wi-FiおよびBluetooth)

コネクタ

EA-EUI-28 = APC/DIN 47256
EA-EUI-89 = APC/FC 小型キー
EA-EUI-91 = APC/SC
EA-EUI-95 = APC/E-2000
EA-EUI-98 = APC/LC
EI-コネクタ = 下記の注記を参照

OTDRソフトウェアオプション

OTDR = OTDRアプリケーションのみ可
iOLM = iOLMアプリケーションのみ可
Oi = OTDRおよびiOLMアプリケーション可

ソフトウェアオプション

00 = ソフトウェアオプションなし
SRC = OTDRポート経由のソース

コネクタアダプタ^a

FOA-12 = バイコニック
FOA-14 = NEC D4:PC, SPC, UPC
FOA-16 = SMA/905, SMA-906
FOA-22 = FC/PC, FC/SPC, FC/UPC, FC/APC
FOA-28 = DIN 47256, DIN 47256/APC
FOA-32 = ST:ST/PC, ST/SPC, ST/UPC
FOA-54 = SC:SC/PC, SC/SPC, SC/UPC, SC/APC
FOA-78 = ラジオール (Radial) EC
FOA-96B = E-2000/APC
FOA-98 = LC
FOA-99 = MU

パワーメータ

00 = パワーメータなし
PM2X = パワーメータ:GeXディテクタ
VPM2X = VFLおよびパワーメータ:GeXディテクタ

例: MAX-730B-M1-EA-EUI-91-Oi-VPM2X-FOA-22-SRC

注記

a. パワーメータを選択した場合。

注文コード

マルチモード/シングルモードアクセスおよびLAN/WAN OTDR

FTB-720-XX-XX-XX-XX-XX

モデル

FTB-720-000-04B = 1625nmフィルタ付きポートのOTDR
 FTB-720-023B-04B = 1625nmフィルタポート付きOTDR
 1310/1550nm
 1625nmポート
 FTB-720-23B = OTDR 1310/1550nm
 FTB-720-12CD = OTDR 850/1300nm
 FTB-720-12CD-23B = OTDR 850/1300nm、1310/1550nm

ベースソフトウェア

OTDR = OTDRアプリケーションのみ可
 iOLM = iOLMアプリケーションのみ可
 Oi = OTDRおよびiOLMアプリケーション可

シングルモードコネクタ

EA-EUI-28 = APC/DIN 47256
 EA-EUI-89 = APC/FC 小型キー
 EA-EUI-91 = APC/SC
 EA-EUI-95 = APC/E-2000
 EA-EUI-98 = APC/LC
 EI-コネクタ = 次ページの注記を参照

iOLMソフトウェアオプション

00 = iOLMオプションなし
 iEX = iOLMエキスパートモード
 RT = リアルタイムOTDRモード (iOLMアプリケーション経由)^a

OTDRソフトウェアオプション^b

00 = ソフトウェアオプションなし
 AD = 自動診断 (マクロバンド検出、
 合否判定、障害探知)
 EC = イベントキャラクタライゼーション
 (双方向分析とテンプレートモード)

マルチモードコネクタ

EI-EUI-28 = UPC/DIN 47256
 EI-EUI-76 = UPC/HMS-10/AG
 EI-EUI-89 = UPC/FC 小型キー
 EI-EUI-90 = UPC/ST
 EI-EUI-91 = UPC/SC
 EI-EUI-95 = UPC/E-2000
 EI-EUI-98 = UPC/LC

例: FTB-720-023B-04B-OTDR-EI-EUI-89-EA-EUI-89

FTB-1プラットフォーム向けシングルモード (PON FTTx/MDU) OTDR

FTB-730-XX-XX-XX-XX-XX

モデル

デュアル波長
 FTB-730-23B = SM OTDRモジュール、1310/1550nm (9/125μm)
 FTB-730-34B = SM OTDRモジュール、1550/1625nm (9/125μm)

トリプル波長

FTB-730-236B = SM OTDRモジュール、1310/1490/1550nm (9/125μm)
 FTB-730-234B = SM OTDRモジュール、1310/1550/1625nm (9/125μm)

SMライブポート

FTB-730-23B-04B = SMおよびSMライブOTDRモジュール、1310/1550および
 1625nmライブポート (インラインブロードバンドパワーメータを含む)
 FTB-730-000-04B = 1625nmライブポート付きSMライブOTDR (9/125μm)
 (インラインブロードバンドパワーメータを含む)
 FTB-730-000-08B = 1650nmライブフィルタポート付きSMライブ
 OTDR (9/125μm)

OPMオプション^c

OPM = ブロードバンド1チャンネル付き
 OPM2 = デュアルチャンネル: 1490/1550nm

例: FTB-730-23B-04B-OPM-iOLM-EA-EUI-89-EA-EUI-89-RT

iOLMソフトウェアオプション

00 = iOLMオプションなし
 iEX = iOLMエキスパートモード
 RT = リアルタイムOTDRモード (iOLMアプリケーション経由)^b

OTDRソフトウェアオプション^b

00 = ソフトウェアオプションなし、OTDRアプリケーション
 AD = 自動診断 (マクロバンド検出、合否判定、障害探知) およびリニアビユー
 EC = イベントキャラクタライゼーション (双方向分析とテンプレートモード)

コネクタ

EA-EUI-28 = APC/DIN 47256
 EA-EUI-89 = APC/FC 小型キー
 EA-EUI-91 = APC/SC
 EA-EUI-95 = APC/E-2000
 EA-EUI-98 = APC/LC
 EI-コネクタ = 次ページの注記を参照

ベースソフトウェア

OTDR = OTDRアプリケーションのみ可
 iOLM = iOLMアプリケーションのみ可
 Oi = OTDRおよびiOLMアプリケーション可

FTB-200コンパクトプラットフォームまたはFTB-500プラットフォーム向けシングルモード (PON FTTx/MDU)

FTB-7300E-XX-XX-XX-XX

モデル

デュアル波長
 FTB-7300E-023B = SM OTDRモジュール、1310/1550nm (9/125μm)
 FTB-7300E-034B = SM OTDRモジュール、1550/1625nm (9/125μm)

トリプル波長

FTB-7300E-234B = SM OTDRモジュール、1310/1550/1625nm (9/125μm)
 FTB-7300E-236B = SM OTDRモジュール、1310/1490/1550nm (9/125μm)

SMライブポート

FTB-7300E-023B-04B = SMおよびSMライブOTDRモジュール、1310/1550および
 1625nmライブポート
 FTB-7300E-023B-08B = SMおよびSMライブOTDRモジュール、1310/1550および
 1650nmライブポート
 FTB-7300E-000-04B = 1625nmライブポート付きSMライブOTDR (9/125μm)

ベースソフトウェア

OTDR = OTDRアプリケーションのみ可
 iOLM = iOLMアプリケーションのみ可^d
 Oi = OTDRおよびiOLMアプリケーション可^d

例: FTB-7300E-023B-04B-Oi-EA-EUI-89

iOLMソフトウェアオプション^d

00 = iOLMオプションなし
 iEX = iOLMエキスパートモード
 RT = リアルタイムOTDRモード (iOLMアプリケーション経由)^b

OTDRソフトウェアオプション^{b,d}

00 = ソフトウェアオプションなし
 AD = マクロバンド検出とリニアビユー

コネクタ

EA-EUI-28 = APC/DIN 47256
 EA-EUI-89 = APC/FC 小型キー
 EA-EUI-91 = APC/SC
 EA-EUI-95 = APC/E-2000
 EA-EUI-98 = APC/LC
 EI-コネクタ = 次ページの注記を参照

注記

- iOLMベースソフトウェアでのみ可。これはOiベースソフトウェアの機能の一部です。
- OTDRおよびOiベースソフトウェアでのみ可。
- FTB-730-000-04BおよびFTB-730-23B-04Bでのみ可。
- FTB-200v2プラットフォームでのみ可。

注文コード(続き)

シングルモード(METRO/CWDM)

FTB-7400E-XX-XX-XX-XX

モデル

デュアル波長

FTB-7400E-0023B = SM OTDRモジュール、1310/1550nm (9/125μm)

トリプル波長

FTB-7400E-0234B = SM OTDRモジュール、1310/1550/1625nm (9/125μm)

4つの波長

FTB-7400E-2347B = SM OTDRモジュール、1310/1383/1550/1625nm (9/125μm)

FTB-7400E-CWS = CWDM SM OTDRモジュール、1470/1490/1510/1530nm (9/125μm)

FTB-7400E-CWCL = CWDM SM OTDRモジュール、1550/1570/1590/1610nm (9/125μm)

ベースソフトウェア

OTDR = OTDRアプリケーションのみ可

iOLM = iOLMアプリケーションのみ可^a

Oi = OTDRおよびiOLMアプリケーション可^a

iOLMソフトウェアオプション^a

00 = iOLMオプションなし

iEX = iOLMエキスパートモード

RT = リアルタイムOTDRモード(iOLMアプリケーション経由)^b

OTDRソフトウェアオプション^{a,c}

00 = ソフトウェアオプションなし

AD = マクロバンド検出とリニアビュー

コネクタ

EA-EUI-28 = APC/DIN 47256

EA-EUI-89 = APC/FC 小型キー

EA-EUI-91 = APC/SC

EA-EUI-95 = APC/E-2000

EA-EUI-98 = APC/LC

EIコネクタ:下記の注記を参照

例: FTB-7400E-2347B-Oi-EI-EUI-89-AD

SPSB-XX-XX

モデル

デュアル波長

SPSB-B-150 = ソフトパルスサブレッサバッグ、
シングルモードファイバ9/125μm、150m

コネクタ

58 = FC/APC 小型キー

88 = SC/APC 小型キー

89 = FC/UPC

90 = ST/UPC

91 = SC/UPC

95 = E2000/UPC

96 = E2000/APC

101 = LC/UPC^d

104 = LC/APC^d

例: SPSB-B-150-58-101

注記

a. FTB-200v2プラットフォームでのみ可。

b. iOLMベースソフトウェアでのみ可。これはOiベースソフトウェアの機能の一部です。

c. OTDRおよびOiベースソフトウェアでのみ可。

d. LCコネクタは最初のコネクタには使用できません。

Eiコネクタ



OTDRのパフォーマンスを最大にするため、シングルモードポートにはAPCコネクタの使用をお勧めします。これらのコネクタは反射率が低く、これは特にデッドゾーンにおいて、パフォーマンスに影響する重要なパラメータです。APCコネクタはUPCコネクタよりもパフォーマンスに優れているため、テスト効率が向上します。

最良の結果を得るには、iOLMアプリケーションを使用するとき、シングルモードポートに必ずAPCコネクタを使用する必要があります。

注記: UPCコネクタも使用可能です。その場合、注文コードの「EA-XX」の部分で「EI-XX」に置き換えてください。追加コネクタが可能になるのはEI-EUI-76 (UPC/HMS-10/AG)とEI-EUI-90 (UPC/ST)です。

EXFO 本社 > 電話: +1 418 683-0211 | フリーダイヤル: +1 800 663-3936 (アメリカ・カナダ) | Fax: +1 418 683-2170 | info@EXFO.com | www.EXFO.com

EXFOは世界100カ国以上で2000社以上のお客様にサービスを提供しております。国内の営業所の連絡先についてはwww.EXFO.com/contactサイトをご参照ください。

EXFOはIOS-9001認定を取得し、製品の品質を保証しています。EXFOは、本スペックシートに記載の情報が正確であることを保証するため、あらゆる努力を払っています。ただし、その情報に誤りや欠如があった場合にはEXFOはその責任を負わず、またEXFOは、設計、特性、製品について、いつでもいかなる義務を負うこともなく変更する権利を保持します。本スペックシートで使用される測定単位は、国際単位系の基準と慣例に準拠しています。また、EXFOの製品はすべて、EUのWEEE指令に準拠しています。詳しくは、www.EXFO.com/recycleをご覧ください。製品の価格、在庫、各地のEXFOディストリビュータの連絡先</53>については、EXFOにお問い合わせください。

本スペックシートの最新版は、EXFOのホームページ(www.EXFO.com/specs)でご確認ください。

なお記載内容に相違があるときは、印刷物ではなくホームページの情報が優先となります。